

仙北市 節電対策推進運動展開

防ごう夏季の電力不足 消費電力 15%削減

節電 対策

東日本大震災の影響により、電力供給バランスの悪化が見込まれていす。この夏、電力不足による大規模停電、計画停電を防止するため、政府では消費電力の15%の削減を目標に、電力需要の抑制への協力を企業、工場、一般家庭に広く呼びかけています。

仙北市でも、市役所をはじめとする、公共施設の節電を一層進めるとともに、市内事業所および一般家庭の協力のもとに「仙北市節電対策運動」を7月1日から9月30日の期間で展開します。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

家庭で、職場で、省エネの取り組みへご理解とご協力をお願いします



市役所をはじめとする公共施設については、消費電力の20%以上の削減を目標とし、別途行動計画を策定のうえ取り組みを進めます。

職場での節電ポイント



○6月から10月までのクーリングダウンを推奨しましょう

「ア―上着の奨励」「断熱材の利用」などで暑さをしのぎ、仕事の効率化を



○エアコンの温度管理を徹底しましょう



○ブラインドの開閉により日射負担を軽減しましょう



○OA機器（コピー機、プリンター、FAX等）の節電モードと夜間の電源オフを徹底しましょう



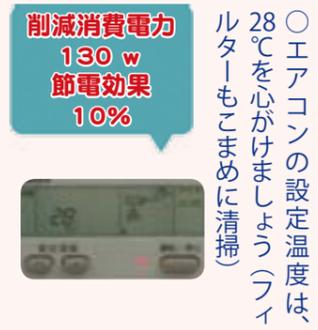
○パソコンの節電プログラムを利用しましょう



○事務所の照明のこまめな消灯を実施しましょう

○給湯温水器の夜間電源オフを徹底しましょう

家庭での節電ポイント



○エアコンの設定温度は、28℃を心がけましょう(フィリターもこまめに清掃)



○ムリをしない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう

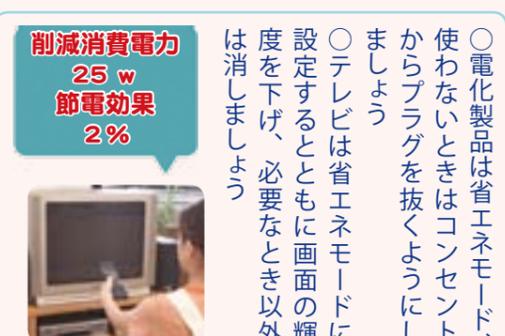
除湿運転、エアコンの頻繁なオンオフは、電力増加になるので注意しましょう



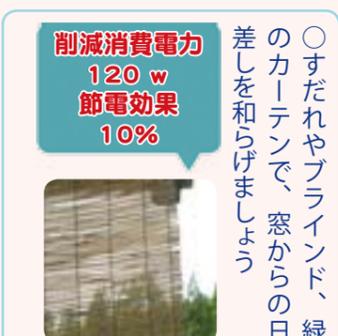
○冷蔵庫の設定を「強」から「中」に。扉を開ける回数、時間を減らし、食品を詰め込まないようにしましょう



○日中は照明を消して、夜間もできるだけ照明を減らしましょう



○テレビは省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう



○すだれやブラインド、緑のカーテンで、窓からの日差しを和らげましょう

一般家庭の電力消費割合は全体の約4割に上ります。家庭の中でエアコン、冷蔵庫、照明、テレビの4つは電気消費量が多く、これら家電製品を上手に使用すれば、効果的に節電することができます。

また、日中のピーク時を避けて電化製品を利用することも、電力

供給の安定を保つために、重要な方法です。(夏場に家庭で電力を、最も消費する時間帯は14時前後となっています)

エアコンの控えすぎによる熱中症や、冷蔵庫の温度管理が必要な、**生鮮食品の取り扱い**には気を付けて、ムリのない範囲で節電しましょう。